

平成21年度 第4回平田地域協議会 会議録 (概要)

1. 日 時／平成22年2月4日 (木) 午後1時30分～午後4時30分

2. 場 所／酒田市平田総合支所 302号室

3. 出席者／ (1) 1号委員 (団体推薦)

・ 奥山仁委員・阿曾智子委員・小林悟委員・和根崎勘一委員・堀弥志男委員・
長谷部耕次委員・佐藤力委員・加藤勝子委員・・・・・・・・計 8名

(2) 2号委員 (識見を有する者)

阿部敬子委員・富樫文雄委員 (会長)・・・・・・・・計 2名

(3) 3号委員 (公募)

佐藤達也委員・富樫美雪委員・藤原幸雄委員・・・・・・・・計 3名

(4) 酒田市

平田総合支所 佐藤富雄支所長・石川忠春地域振興課長・

井上太地域振興主幹・中條幸弥市民福祉課長・

佐藤政好建設産業課長・土田瑞穂地域振興課長補佐・

地域振興課小松原毅地域振興主査兼地域振興係長

・・・・・・・・計 7名

出席者合計20名

4. 欠席届／ (1) 1号委員 (団体推薦) 菅原律子委員

・ (2) 2号委員 (識見) 後藤保喜委員

5. 次 第／ (1) 開会

(2) 平田地域協議会 会長あいさつ

(3) 平田総合支所 支所長あいさつ

(4) 会議録署名委員の選任

(5) 報告

- ①区長制度廃止に伴う自治会運営補助金加算分・広報配布委託料について
- ②平成22年度 平田総合支所地域づくり予算について
- ③デマンドタクシーの検討状況について

(6) 協議

- ①委員からの提案・意見について
- ②平成21年度 平田地域協議会における協議状況・
地域課題についての市長への報告について

(7) 閉会

6. 会議録／(1) 開会

▶石川地域振興課長

(2) 平田地域協議会 会長あいさつ

▶富樫会長

本日はお寒い中ご出席いただきまして、ありがとうございます。

今回より新たに、委員の皆様より地域課題に対して提案いただく場を設けた。それぞれの立場から積極的なご提案をいただき、それを地域協議会共通の課題とし、よりよい地域づくりに反映させるべくご協議いただきたい。

(3) 平田総合支所 支所長あいさつ

▶佐藤支所長

常日頃、他の公務等も通し、地域の振興発展、また地域福祉の向上に向けご尽力いただいていることに対し、厚く感謝申し上げます。

今年度最大の課題は、公民館制度からコミュニティ振興会への移行であったが、10ヶ月経過し、関係者のご努力、ご尽力により順調に組織運営がなされ、計画された諸事業も予定どおり実施されている。

平成22年度からは区長制度が廃止され、自治会運営等補助制度に変更となる。これまで区長の皆様には、ご説明申し上げながらご意見、ご要望をいただいていた。平田地域としては、現在の区長連絡協議会から自治会連絡協議会へと移行し、引き続き連携していくという確認をいただいた。コミュニティ振興会に続く大きな制度変更となるわけだが、平田総合支所としても、従来にも増して地区や自治会と協力しながら地域

の振興と発展に努めていきたい。

委員の皆様からも、引き続きご支援を賜りたい。

(4) 会議録署名委員の選任

▶ 富樫会長

会議録署名委員として、小林悟委員を選任いたします。

(5) 報告

① 区長制度廃止に伴う自治会運営補助金加算分・広報配布委託料について

▶ 石川地域振興課長（資料に沿って説明）

▶ 堀委員

区長制度の廃止に対し、不安を感じている区長は多いと感じている。自分の地区でも、平成22年度からの自治会長報酬について、他地区の様式を見ながら検討していかなければならないと話している。

自分のところのように10数軒規模の地区で、これまでと同額の区長報酬を維持しようとする、1戸当たりの負担を1万円程度増やさないと運営できなくなる。中山間も含め、戸数が少ない地区のことを考えたほうがいいのか。

▶ 小林委員

合併して制度の統一が必要との考えも分かるが、市街地と我々が住む平田、松山、八幡では、住む環境がまったく違う。現在の経済状況や高齢化が進むなか、これまでの区長報酬を維持するため地元の負担を増やすということについては、地区内の理解を得られない。制度の統一といってもできないこともあるわけなので、再検討をお願いしたい。

▶ 長谷部委員

今の発言にあったように、規模の小さい地区もあれば、400戸という大きな地区もある。どういった経過で制度の原案が作られたのか。

▶ 佐藤力委員

全市統一とのことだが、現場の声が反映されない形で進んでいる感じがする。地域でがんばってもらいたいといいながら、一方でこうした対応であれば、がんばることはできない。温かい友愛の心が必要なのではないか。

▶ 佐藤支所長

区長の皆様からは、旧平田町時代から非常勤特別職という行政組織の一員として、地区と行政とのパイプ役を担っていただいていた。合併し、

旧酒田市の市街地における自治会制度、旧公民館地区における協力員制度、旧平田町、旧松山町、旧八幡町それぞれの区長制度という、1市5制度となっていたが、その統一については合併前からの課題であった。

今回の制度変更は、旧三町側から要望による5年間の激変緩和措置も設けながら、新市統一の制度に移っていこうというものである。このことについては、案が示された段階で区長の皆様にも説明して合意を得ているし、議会にも説明し、条例改正を行って4月より新市1制度に移行していこうというものであり、方向が変わるということはない。

区長の皆様からは、戸数が少なかったり、所管するエリアが広いうえ地区内に林道、農道、河川などがあって、これらを限られた人数で維持管理しなければならないなどの、市街地にはない事情に配慮した支援が必要との意見もいただいている。

このことについては、後ほどの協議題である、市長に対する報告内容のところでもご協議をいただき、意見を集約したうえで市長の報告していくよう、会長から取り計らっていただければと考えている。

②平成22年度 平田総合支所地域づくり予算について

▶石川地域振興課長（資料に沿って説明）

▶佐藤力委員

内容的には理解するが、合併当初の2千万円を超えていたことから比べると年々先細りしている気がする。地域の活性化に結びつくような、新規事業についての要望はないのか。

▶佐藤支所長

地域づくり予算については、第2回目と第3回目の地域協議会において委員の皆様からご協議いただき、それを基に予算要求させていただいた。

合併当初は2千万円規模であったが、全市的な事業として実施したほうが効果的、効率的であるとして、商工観光部門を中心に本所の予算に計上されているものも相当ある。平田地域に関連する額としては、合併当初とそんなに違いはないと認識している。委員の皆様から新たな事業等についてのご提案をいただければ、予算要求していきたい。平成23年度の地域づくり予算に向け、ご意見を賜りたい。

③デマンドタクシーの検討状況について

▶石川地域振興課長

酒田市としてタクシー会社に委託する形で、平成22年度から一部の地域で導入することを検討している。

旧3町地域についてはそれぞれ特有の課題もあり、担当の商工港湾課では、現在運行されている生活路線バスのあり方や、デマンドタクシーを導入した場合に利便性が向上するのかなどについて住民からご意見を伺い、協議が整ったところから導入していきたいとのことである。

平田地域については、平成22年度に入ってから導入に向けた具体的検討に入りたい。地域協議会でもご意見を伺う場が出てくるので、よろしくお願ひしたい。

▶長谷部委員

コミュニティ振興会や地域に十分な説明をし、住民のコンセンサスを得ながら検討を進めてもらいたい。

(6) 協議

①委員からの提案・意見について

▶奥山委員

【小林温泉の回数券販売について】

先日、田沢コミュニティ振興会の区長が全員参加し、地産地消ということで、小林温泉を会場に宿泊研修を行った。その際、リピーターを増やすための回数券発行について、提案があった。

【旧阿部家の入館料の有料化について】

旧阿部家の管理人は、これまでは市から直接委託されていたが、平成22年度からは、団体に対する委託となるため、管理人の待遇が不安定になるとの意見が出された。委託方法を変更する理由が財源不足というのであれば、いくらか入場料をいただくことで財源に充当できないかということである。

旧阿部家の入場者は、年間4,000人にもなっている。管理人の話では、団体客が訪れると、説明者が一人だと対応できない場合もあるとのこと、大変な業務だと感じている。

【道路に接する家屋からの落雪被害の防止について】

集落内の狭かった市道を拡幅していただき、感謝している。しかしその結果、建物のすぐそばまで道路が広がったところがあり、こうした場所では、屋根から勢いよく落ちる雪による事故が心配されるようになった。「落雪注意」といった、注意を促す看板が設置できないか。

▶和根崎委員

【区長制度廃止に伴う自治会とコミュニティ振興会の役割分担について】

これまで各地区で行われてきた事業の多くが、コミュニティ振興会で

展開されるようになった。4月から自治会としての活動が始まるにあたり、「自治会の役割とは何か」話し合っていく必要があるのではないかと。

【平田地域における人口減少防止策について】

平成21年度における平田地域の人口は、6,815人と聞いている。砂越地区を除いた38の地区を合わせると、毎年60人から70人が減少している現状である。防止策について、地域協議会の中でも話し合っていく必要があるのではないかと。私の方の地区では、空き家と空き地を地図上に示し、分かるようにしている。

【スクールバスによる小学生の完全送迎について】

平成22年度内に予定されている飛鳥バイパスの開通に伴い、郡鏡、檜橋の子どもたちが道路を横断する際などの危険度増加が予想されるため、スクールバスによる南平田小学校児童の送迎について要望する。

また田沢小学区では、各地区の区長が子どもたちと一緒に通学していると聞いている。区長の負担を軽減させるため、田沢小学校児童の送迎についても要望する。

【平田地域における農地・水・環境保全会連絡協議会の設立について】

現在は各保全会単位で活動しているが、共通の課題について話し合う場を設け、広い範囲での農地・水・環境保全を進めるべく、保全会連絡協議会の設立について提案する。

▶長谷部委員

【砂越駅の管理の在り方について】

現在は市からの委託を受けて、ふれあい商工会が砂越駅の管理を行っている。受託する理由は、青少年の健全育成、非行防止だが、実際には風紀の乱れも報告されている。ふれあい商工会では、今後も市の委託を受け砂越駅に人員を配置するのか検討中であるが、砂越駅の管理の在り方について、地域住民の意見も伺いながら判断したいと考えている。

【砂越緑町北側交差点における交通安全対策について】

現在、信号設置についての要望書が提出済みであるが、交通安全協会平田支部とコミュニティ振興会とが連携し、署名活動などを行いながら実現を目指したい。平田地域全体の課題でもあるので、委員の皆様からも様々な場において、こうした活動についての周知を図っていただきたい。

▶佐藤力委員

【平田地域活性化に向けた仁助新田周辺整備について】

中山間地域の要として、仁助新田における事業をどのように組み立て、一帯をどう整備していくのか、山元、田沢、中野俣、北俣の活性化に結

び付けるべく、地域協議会としても力を傾注していくべきと考える。

▶菅原委員（石川地域振興課長が代理で説明）

【女性団体のあり方について】

菅原委員より提案内容を聞いていたので、代わりに説明させていただきたい。

婦人会の中には、交通安全母の会、消費者の会、食生活改善といった組織が入っている。コミュニティ振興会設立以降、コミ振内でも女性による地域活動が展開されている。加えて市全体の連合会もあり、平田地域における女性団体のあり方について、検討する必要があるとのことであった。

▶藤原委員

【人権・行政相談の利用・活用状況について】

人権・行政相談については、住民の悩みに寄り添う温かな制度であると感じている。平田地域の住民からどういった相談が持ち込まれているのか、差し支えない範囲でお知らせいただきたい。

【中山間地における高齢者世帯の生活日用品購入について】

高齢化が進み、一人暮らしや高齢者のみの世帯が増えていると思うが、交通手段を持たない方々が生活日用品などの買い物で難儀していないか、実態や対応策についてお尋ねしたい。

【駐在所と住民の関わりの強化について】

平田駐在所について緊急時の連絡体制や、住民との関わりについてお知らせいただきたい。

▶富樫会長

いただいたご発言については、課題、要望、意見に大別されると思うが、市で答えられるものについては説明いただきたいし、次の協議題である市長に対する報告内容で整理できるものもあると思うので、ご協議いただきたい。

▶石川地域振興課長

人権・行政相談は平田地域独自の相談活動であるが、月2回の相談日を設けている。体制的には人権擁護委員3人、行政相談員一人で、各回で交代しながら、1回の相談日に二人で相談に応じている。

件数的には5人が訪れる日もあれば、相談者がいない日もある。相談内容については、土地・金銭・相続・医療関係、近隣住民とのトラブル、家族の問題、行政に対する苦情などである。行政に対する苦情については担当部署につないでいるが、他の相談についての内容は知ることができない。

駐在所の体制については、本署勤務や空港警備などで留守にせざるをえない場合もあるが、携帯電話の番号を住民にお知らせするなど、緊急時に備えている。

▶佐藤建設産業課長

小林温泉の回数券発行については、管理運営委員会で検討していただくことになる。以前も検討されたが、その時は見送られたとのことであった。

道路に接する家屋からの落雪については、現地も確認して対応したい。

農地・水・環境保全会連絡協議会の設立については、市も交えた情報交換会、勉強会といった考え方で対応できないか考えている。

▶中條市民福祉課長

単身世帯で交通手段をお持ちでない方に対し、隣近所の方々が買い物に行く際に、「必要なものはないか」と声をかけていただいている現状も見られる。こうした助け合いについて、地区や隣近所で話し合っただけであればありがたい。

▶井上地域振興主幹

スクールバスによる小学生の送迎については、通学距離など、教育委員会で定めた基準により運行されている。今回の意見については、要望という形であげていただきたい。

▶佐藤力委員

農地・水・環境保全会連絡協議会の設立については、大変良いことだと思う。市とも相談しながら、早い段階で立ち上げていただきたい。

▶加藤委員

砂越緑町北側交差点では先日も追突事故があり、危険だと感じていた。自治会長とも相談し、信号設置に向け活動していければと思っている。

▶富樫美雪委員

婦人会は任意加入であり、加入しない人も多い。入らない人は、販売活動や敬老会の手伝いを負担に感じているようである。このままでは運営も難しくなってくるので、目的や方針など婦人会のあり方について、きちんと話し合うことが必要だと思っている。

▶阿部委員

山元の婦人部は地域では活動していたが、何年か前から市全体の活動には参加していない。コミュニティ振興会が立ち上がり、文化教養部の中で女性が活動できるということで、9月ごろ婦人部は解散した。その後新たに、地区だけでなく市内の人でも参加できるグループを立ち上げ、ダム祭りにも参加させていただいている。

▶阿曾委員

駐在所との関わりに関し、東陽コミュニティ振興会では月1回、「ふれあい警察の日」を設けている。またコミ振で行事や教室を行う際、「出前交番」として、交通安全などについて話をいただいている。

▶富樫会長

中山間地における高齢者世帯に対する買い物支援について、庄内町では町と農協とでNPO法人を立ち上げ、宅配を行っている。今後私も庄内町に出向き、宅配の車に乗せてもらいながら、現状を見たいと思っている。

②平成21年度 平田地域協議会における協議状況・

地域課題についての市長への報告について

▶石川地域振興課長（資料に沿って説明）

▶和根崎委員

拠点とならない施設（旧分館）について、4年後には市からの維持管理費が打ち切られる。想定では、市に返すか、コミ振から補助を受けられるかの、どちらかだと思うが、今から地区内で相談しているところである。

▶佐藤力委員

市長に対して報告した内容については、意見を出しただけで終わらず、どれだけ具体的に取り上げてもらえるのが重要である。

▶長谷部委員

地域協議会のあり方について、委員の発言がその場限りでなく、責任も重みもあるような組織に見直しをかけていくことが必要だと考える。また支所のあり方について、市議会でも委員会を設置したが、地域協議会でも議論していくべきだと思っている。

▶富樫会長

市長に対する報告については、委員の皆様の意向も十分に汲みながら整理をしていくので、内容についてはおまかせいただきたい。

第4回地域協議会を終了します。